News release

2026 年 11 月 4 日
PwC コンサルティング

PwC コンサルティング、AI 駆動開発の実装・定着化実績を基にオファリングを体系化し本格展開

AI ガバナンスと AI 駆動開発を起点に IT 部門変革を推進し
多業種・領域のシステム開発で最大 70%の工数削減を実証

PwC コンサルティング合同会社（東京都千代田区、代表執行役社長：樋崎 充、以下「PwC コンサルティング」）は、開発ライフサイクル全体に生成 AI を組み込む「AI 駆動開発の本格実装・定着化を支援するサービス」を、本日より提供開始します。これまでに、情報系システムから金融・製造業の基幹系システム（SoR）に至るまで多様なシステム領域における実証および実運用までの支援を完了し、要件定義・設計・開発・テストの各工程で最大 70%の工数削減を確認しました。これらの知見を基に、さらに多くの業種や他システム領域での AI 駆動開発の本格実装支援を目指し、オファリングとして体系化しました。

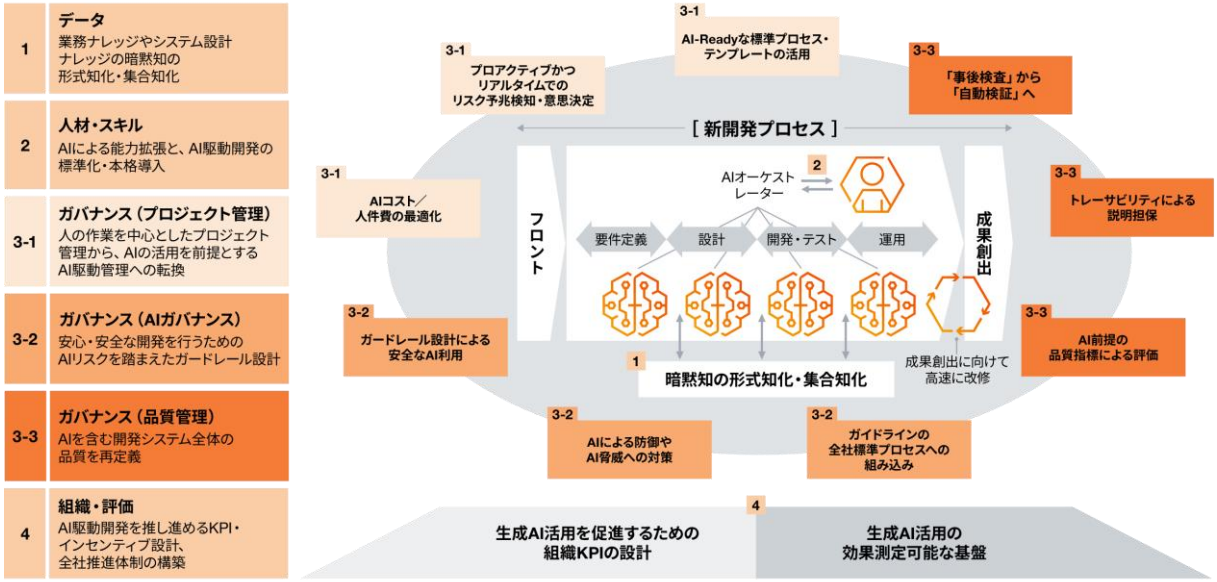
近年、デジタル化の加速や法規制の改定への対応、レガシーシステムの老朽化などにより、企業の IT 部門が対応すべき課題は増大・複雑化しています。こうした中、開発プロセス全体に AI を組み込む AI 駆動開発への注目が高まっています。一方で、多くの企業では特定の工程への適用や個別ツールの導入・活用にとどまっており、全社規模の成果や投資対効果（ROI）の向上に必要となる、AI-Ready な仕様書・設計書などのデータ、人材・スキル、ガバナンスなどの整備まで至っていないのが現状です。

AI 駆動開発の推進・定着のためには、開発手法の置き換えにとどまらず、AI 駆動開発による効果創出の全体像や AI 時代を見据えた IT 部門の変革が必要です。そのため PwC コンサルティングは、AI を前提とした開発プロセスへの転換と定着、人と AI の役割再定義を基にした次世代の IT 部門への転換の双方から支援する本サービスを企画・開発しました。

AI 駆動開発の本格実装・定着化を支援するサービスの特長

1. 全開発工程への AI 駆動開発の本格実装・定着化支援
要件定義から設計、開発、テスト、運用まで、開発ライフサイクル全体に AI 駆動開発を導入します。ツールを導入するだけでは成果は一部の工程にとどまるため、データ、人材・スキル、ガバナンス、組織・評価の 4 つの領域を同時に変革し、AI を前提とした開発プロセスへの転換と本番定着まで伴走します。主な支援内容は次のとおりです。

- **データ**：業務ナレッジやシステム設計ナレッジの暗黙知の形式知化・集合知化
- **人材・スキル**：AI による能力拡張と、AI 駆動開発の標準化・本格実装
- **ガバナンス**：人の作業を中心としたプロジェクト管理から AI 駆動管理への転換、安心・安全な開発を行うための AI リスクを踏まえたガードレール設計、AI を含む開発システム全体の品質の再定義
- **組織・評価**：AI 駆動開発を推し進める KPI・インセンティブ設計、全社推進体制の構築



図表 1：全開発工程への AI 駆動開発の本格実装・定着化支援全体像

2. 次世代 IT 部門への変革支援

AI を開発チームのメンバーとして組み込み、「労働力」として機能することを前提とした次世代の IT 部門への変革を支援します。従来のシステム開発を担う組織から、全社の AI 活用を推進・統制する中核機能への転換を実現するものです。まずは求められる主要機能を特定するために、現行 IT 部門の役割・業務・人材・体制の可視化と AI 活用成熟度の診断を行い、目指すべき次世代 IT 部門像とその実現に向けたロードマップを策定します。そのうえで、クライアントの状況や課題、ニーズを踏まえ、それぞれの機能の確立を支援します。次世代の IT 部門に求められる主な機能は次のとおりです。

- **IT 戦略立案**：中長期的な視点で人と AI の役割を踏まえた IT 戦略立案
- **システム開発機能の再定義**：従来型のシステム開発にとどまらず、要件定義から運用・保守まで、AI 駆動開発を通じて事業部と一体となって推進し、事業成果の創出に貢献
- **情報資産管理**：暗黙知や業務ナレッジの形式知化・集合知化と、AI の育成・運用基盤の確立
- **情報セキュリティ**：AI ガバナンス（Security for AI／AI for Security）の整備



図表 2：次世代 IT 部門の役割と主要機能

PwC コンサルティングは今後、本サービスを業種や産業を問わずさまざまなクライアントへ展開し、適用するシステム領域・工程のさらなる拡大を図ります。クライアントとともに AI 駆動開発を起点とした IT 部門の変革イメージを描き、実装まで伴走することで、企業の持続的な成長に貢献していきます。

参考情報：本格実装実績

金融業・製造業を中心に、基本設計書レビューの工数 70%削減、基幹業務システム移行におけるインターフェース項目解析の工数 70%削減、基幹業務システム刷新のインターフェース開発の工数 40%削減、テストケース・テストデータ生成の生産性 60%向上、数十の既存システムのリバースエンジニアリングにおける約 2 カ月から約 1 週間への短縮など、業種・システム・工程をまたいで具体的な効果を実証しています。

本サービス企画開発における実証実験においては、特定工程や個別ツールへの部分的な適用にとどまる、AI-Ready なデータや人材・スキルが不足しているといった現在 AI 駆動開発を進める企業が抱える課題を解消しながら、要件定義・設計・開発・テストの各工程に生成 AI を実適用してきました。また、セキュアな開発環境や AI ガバナンスの整備と併せて進めることで、機密性・可用性の要求が高い基幹系システムにも適用可能にすることを目指しました。

以上

PwC コンサルティング合同会社について www.pwc.com/jp/consulting

PwC コンサルティング合同会社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しています。PwC グローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、グローバル市場で競争力を高めることを支援します。

PwC Japan グループについて www.pwc.com/jp

PwC Japan グループは、日本における PwC グローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。

複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japan グループでは、監査およびブローダーアシュアランスサービス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働さ

せる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約 14,400 人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズにより的確に対応したサービスの提供に努めています。

© 2026 PwC Consulting LLC. All rights reserved.
PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.